| 科目区分    | クラスター共通基礎科目             |          |                |
|---------|-------------------------|----------|----------------|
| 授業科目名   | 基礎医学技術実習「細胞染色と観察」       |          |                |
| 担当者名    | 田中 正光                   | 配当年次     | 1年次            |
| 単位数     | 1単位                     |          |                |
| 授業形態    | 実験実習                    | 実施場所     | 授業計画の〔実施場所〕を参照 |
| 開講期間    | 科目履修登録終了後に受講者へメールで連絡します |          |                |
| 開講曜日•時間 | 科目履修登録終了後に受講者へメー        | -ルで連絡します |                |

### 授業の概要・到達目標

授業の目的:指定する各種セミナーや講演会へ定期的に参加することで, 細胞の染色, 観察法について 理解することを目的とする。

授業の到達目標:細胞の基本的な染色法と, 観察の仕方を習得する。

### 授業の概要:

- 1. 最も一般的な組織染色について理解する。
- 2. 膠原繊維など多疾患でみられる繊維組織の観察法を理解する。
- 3. 脂肪細胞の同定法を理解する。
- 4. 骨を構成する細胞, 基質の染色について理解する。
- 5. 軟骨や歯の細胞, 基質の染色について理解する。
- 6. 神経細胞やグリア細胞の同定法を理解する。
- 7. 免疫染色で最も一般的な酵素抗体法について理解する。
- 8. 免疫染色として蛍光で観察する方法について理解する。
- 9. RNAプローブを用いたin situハイブリダイゼーション法の実際を理解する。
- 10.酵素抗体法、蛍光染色においての多重染色の仕方を理解する。

## 授業計画

|    | 講 義 題 目<br>(講 義 内 容) | 担当教員  | 講座名<br>〔実施場所〕                  |  |  |
|----|----------------------|-------|--------------------------------|--|--|
| 1  | HE染色                 | 田中 正光 |                                |  |  |
| 2  | 繊維成分の染色              | 田中 正光 | ・ 分子生化学<br>〔講座セミナー室, 研究室<br>等〕 |  |  |
| 3  | 脂肪染色                 | 田中 正光 |                                |  |  |
| 4  | 骨染色                  | 田中 正光 |                                |  |  |
| 5  | 軟骨, 歯牙の染色            | 田中 正光 |                                |  |  |
| 6  | 脳組織の染色               | 田中 正光 |                                |  |  |
| 7  | 酵素抗体法                | 田中 正光 |                                |  |  |
| 8  | 蛍光染色                 | 田中 正光 |                                |  |  |
| 9  | in situ ハイブリダイゼーション法 | 田中 正光 |                                |  |  |
| 10 | 組織の多重染色              | 田中 正光 |                                |  |  |

# 成績の評価方法・基準

セミナー室(研究室)での実習30時間+自学自習15時間,計45時間で1単位とし,評価は出席状況と 提出したレポートの内容を考慮して行う。

# 問い合わせ先(氏名、メールアドレス等)

田中 正光, mastanak@med.akita-u.ac.jp

## その他特記事項

履修に関する情報:社会人大学院生など勤務等で実習に出席できない場合には日程の調整に応じます。 教科書・参考文献:必要に応じて資料を配付する。または、文献を指定する。

自学自習時間における学習内容:到達目標や授業内容に応じた準備学習を行うことが望ましい。